

愛知県(県域)

1 産地の概要

<対象品目> ナス

<産地の現状・課題>

愛知県の施設ナス産地では、これまで環境モニタリング機器を利用した環境制御技術の確立と単為結果性品種の導入により増収と省力化を図ってきた。また、みどりの食料システム戦略や消費者志向の変化を受けて、環境に配慮したナス防除体系の確立に向けた機運が高まっている。

一方、これまで病害虫防除は化学農薬に頼っており、薬剤抵抗性の発達したコナジラミ、アザミウマ類、灰色かび病の防除に苦慮している。そこで、コナジラミのバイオタイプに応じた薬剤の選定、天敵等を活用したアザミウマ類の防除、ICT機器を活用した施設内環境の改善による灰色かび病の発生リスクの低減技術を検証することで、化学農薬の使用回数の削減及び省力化を図る。

2 検討体制

<愛知県組織と関係機関等の役割>

- ・ 農業経営課(事務局)
- ・ 農業革新支援センター(事業コーディネート、技術指導、検討会議の開催、栽培マニュアル及び産地戦略のまとめ)
- ・ 普及指導センター(JA・農業者の調整、実証ほの進行管理・調査、技術指導)
- ・ JA(農業者との調整、技術指導・調査補助、地域研究会の開催)
- ・ 農業者(実証ほの栽培管理、技術の検証、データ収集)



天敵製剤のバンカ一シートを設置



生産者と普及指導員が天敵の定着状況を調査



環境の多点計測に用いた測定機器

3 グリーンな栽培体系

<環境にやさしい栽培技術>

取組項目	作業段階	新たに取り入れる技術
化学農薬の使用量削減	栽培期間全般	<取り入れる技術> 天敵と赤色防虫ネットを活用したアザミウマの防除、ICT機器を活用した環境改善による灰色かび防除、バイオタイプに対応したコナジラミの防除
		<見込まれる効果> 化学農薬使用回数の削減

<省力化に資する技術>

作業段階	新たに取り入れる技術
栽培期間全般	<取り入れる技術> 天敵と赤色防虫ネットを活用したアザミウマの防除、ICT機器を活用した環境改善による灰色かび防除、バイオタイプに対応したコナジラミの防除
	<見込まれる効果> 上記を組み合わせた防除体系によって作業工程を2回以上削減

4 活動内容及び今後の展開

<活動内容>

- ・ 検討会の開催(実証ほの計画・成績及び天敵利用技術に関する事例調査内容の検討)
- ・ 天敵等の活用、ICT機器の活用による環境改善の実証ほを設置し、栽培マニュアルと産地戦略について県域で作成

<今後の展開>

- ・ 実証ほの検証結果を元に県内各産地の防除暦に反映させることで、取組を展開
- ・ 天敵等の利用と環境改善はさらに成功事例を積み重ね、トマトやイチゴなどの施設園芸品目への導入を拡大・普及